



2026年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年1月14日

上場会社名 株式会社エスエルディー 上場取引所 東
コード番号 3223 URL <http://www.sld-inc.com/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 有村 譲
問合せ先責任者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 有村 譲 (TEL) 03-6866-0245
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第3四半期の業績 (2025年3月1日～2025年11月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
2026年2月期第3四半期	百万円 2,763	% △0.2	百万円 94	% △12.7	百万円 98	% △8.2	百万円 86	% △16.5
2025年2月期第3四半期	2,769	2.4	108	12.8	107	5.7	103	14.5
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
2026年2月期第3四半期	円 銭 39.75		円 銭 —					
2025年2月期第3四半期	50.65		—					

2025年2月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの希薄化効果を有していないため記載しておりません。

なお、2026年2月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年2月期第3四半期	百万円 1,159	百万円 550	% 47.5
2025年2月期	1,074	497	46.2

(参考) 自己資本 2026年2月期第3四半期 550百万円 2025年2月期 496百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年2月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年2月期	—	0.00	—	—	—
2026年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

配当の状況に関する注記

3. 2026年2月期の業績予想 (2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,822	4.4	212	47.4	212	48.5	206	43.6	111.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2026年2月期の業績予想については、直近の業績動向等を踏まえ修正する予定であり、現在精査中であります。今後、通期業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期3Q	1,560,864株	2025年2月期	1,560,864株
② 期末自己株式数	2026年2月期3Q	129株	2025年2月期	129株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年2月期3Q	1,560,735株	2025年2月期3Q	1,560,735株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無

法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る 1 株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
(A種種類株式)	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年 2 月期	—	—	—	32,000.00	32,000.00
2026年 2 月期	—	—	—		
2026年 2 月期(予想)				32,000.00	32,000.00

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第3四半期累計期間)	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(収益認識関係)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第3四半期累計期間（2025年3月1日～2025年11月30日）におけるわが国経済は、長引く物価上昇の中、雇用環境や個人所得の改善により緩やかに回復したものの、各国の通商政策や新政権による経済政策が与える経済や物価等への影響について不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、好調なインバウンド需要や価格改定により業績が堅調に推移したものの、原材料費の高止まり、賃上げや労働力不足の解消のための人工費、求人費の増加、設備投資に関する設備費の増大を招いており、業界を取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社におきましては、「To Entertain People～より多くの人々を楽しませるために～」という企業理念のもと、「食で好きをもっと楽しく」の実現を経営方針として掲げ、飲食サービスの健全な成長とコンテンツ企画サービスの拡大をさせてまいりました。

また、当第3四半期会計期間において、中間会計期間に引き続き全社員向けの社内研修制度「SLDアカデミー」を実施いたしました。引き続き当社は人材育成を成長エンジンと位置づけ、社員教育のコンテンツを拡大し、さらなる人的資本への投資を推進してまいります。

(飲食サービス)

飲食サービスにつきましては、すべての店舗においてお客様に安心して飲食を楽しめる空間を提供するために、更なる「CS（顧客満足度）と収益力の向上」を掲げ、集客改善に向けた設備投資などを実施しております。また、サービス向上のため従業員に対する教育施策やDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進、人材・店舗資産を有効活用するなど業務の効率化を図ることにより、人手不足の解消にも努力をしております。

当社店舗においては、「食」×「コンテンツ」をテーマに掲げ、アニメ、音楽アーティスト、キャラクターなどの優良のコンテンツとのコラボレーションカフェを継続して実施し、また、季節ごとの魅力的な商品を提供することで、お客様の来店動機の創出に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間における当サービスの売上高は1,855百万円（前年同期比6.3%減）となりました。

(コンテンツ企画サービス)

コンテンツ企画サービスにつきましては、アニメやゲーム、漫画、アイドル、音楽アーティスト等の優良コンテンツを活用した常設のコラボカフェの展開、他社が経営する飲食店舗の開店支援業務及び運営業務の受託などいわゆる企業間取引（BtoB）のビジネスモデルであるプロデュース事業などへの取り組みを行っております。

当社が運営受託する店舗のキャラクターカフェを中心に、インバウンド需要による訪日外国人観光客の集客が引き続き好調に維持し、また、短期的なコラボレーションカフェにおいて大型優良コンテンツとのコラボカフェを実施し収益性の向上を実現したこと、売上高の大幅な拡大を図ることができました。

この結果、当第3四半期累計期間における当サービスの売上高は908百万円（前年同期比15.0%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における業績は、売上高が2,763百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益94百万円（前年同期比12.7%減）、経常利益98百万円（前年同期比8.2%減）、また、第2四半期において直営店舗の定期建物賃貸借契約の満了による閉鎖に伴い減損損失9百万円を計上したことなどにより、四半期純利益86百万円（前年同期比16.5%減）となりました。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末と比較して85百万円増加し、1,159百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末と比較して86百万円増加し、757百万円となりました。これは主に、現金及び預金が39百万円減少したものの、売掛金が122百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末と比較して大きな変動なく402百万円となりました。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末と比較して32百万円増加し、608百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末と比較して40百万円増加し、518百万円となりました。これは主に、短期借入金が50百万円減少したものの、買掛金が21百万円、未払金が37百万円、未払費用が22百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末と比較して8百万円減少し、90百万円となりました。これは主に、資産除去債務が7百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末と比較して53百万円増加し、550百万円となりました。

これは主に、配当金の支払いにより利益剰余金が32百万円減少したものの、四半期純利益を86百万円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の業績予想につきましては、2025年4月14日の「2025年2月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」で公表いたしましたが、直近の業績動向等を踏まえ修正する予定であり、現在精査中であります。

今後、通期業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	317, 237	277, 968
売掛金	253, 319	375, 476
原材料及び貯蔵品	18, 977	21, 024
未収入金	16, 849	12, 594
その他	64, 203	70, 339
流動資産合計	670, 587	757, 403
固定資産		
有形固定資産		
建物	393, 936	379, 158
減価償却累計額	△324, 505	△319, 224
建物（純額）	69, 430	59, 934
機械及び装置	9, 000	9, 000
減価償却累計額	△8, 999	△8, 999
機械及び装置（純額）	0	0
工具、器具及び備品	131, 246	148, 748
減価償却累計額	△121, 141	△123, 895
工具、器具及び備品（純額）	10, 104	24, 852
有形固定資産合計	79, 535	84, 787
無形固定資産	161	56
投資その他の資産		
投資有価証券	1, 500	1, 500
繰延税金資産	73, 421	73, 421
敷金及び保証金	246, 950	241, 068
その他	2, 316	1, 611
投資その他の資産合計	324, 188	317, 600
固定資産合計	403, 885	402, 444
資産合計	1, 074, 472	1, 159, 848

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2025年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	84,447	105,681
未払金	63,047	100,933
未払費用	140,559	163,086
短期借入金	100,000	50,000
預り金	22,179	39,531
未払法人税等	5,384	4,038
資産除去債務	14,492	14,589
その他	47,778	41,024
流動負債合計	477,889	518,885
固定負債		
資産除去債務	92,507	85,379
その他	6,367	4,721
固定負債合計	98,874	90,101
負債合計	576,764	608,986
純資産の部		
株主資本		
資本金	48,876	48,876
資本剰余金	351,808	351,808
利益剰余金	96,191	150,344
自己株式	△168	△168
株主資本合計	496,707	550,861
新株予約権	1,000	—
純資産合計	497,708	550,861
負債純資産合計	1,074,472	1,159,848

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
売上高	2,769,120	2,763,541
売上原価	540,160	532,610
売上総利益	2,228,959	2,230,930
販売費及び一般管理費	2,120,285	2,136,107
営業利益	108,673	94,822
営業外収益		
受取利息	35	274
受取保証料	2,652	2,471
その他	2,467	1,806
営業外収益合計	5,155	4,553
営業外費用		
支払利息	1,048	625
株式交付費償却	4,165	—
その他	1,422	333
営業外費用合計	6,636	959
経常利益	107,193	98,416
特別利益		
新株予約権戻入益	—	1,000
特別利益合計	—	1,000
特別損失		
減損損失	—	9,225
特別損失合計	—	9,225
税引前四半期純利益	107,193	90,191
法人税、住民税及び事業税	4,038	4,038
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	4,038	4,038
四半期純利益	103,154	86,153

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社の税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、店舗の運営等を通じたカルチャーコンテンツの提供を行う事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	11,077千円	18,114千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社は、店舗の運営等を通じたカルチャーコンテンツの提供を行う事業の単一セグメントであり、顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
飲食サービス	1,979,166	1,855,459
コンテンツ企画サービス	789,953	908,082
顧客との契約から生じる収益	2,769,120	2,763,541
その他の収益	—	—
外部顧客への売上高	2,769,120	2,763,541